

【翻刻】文久元年（一八六一）

「落鳥一件願書」

〔資料館寄託 大瀬高橋義一家文書一五七二のうち〕

乍^レ恐以^ニ書付^一奉^ニ申上^一候

埼玉郡八条領松ノ木村名主雄右衛門同人悴

喜太郎、百姓次郎兵衛、同由蔵一同奉^ニ申上^一候、当

二月下旬当村地内落鳥有^レ之候哉之旨御尋^ニ

御座候、

此段始末左^ニ奉^ニ申上^一候、

当二月廿四日朝四ツ時頃、当村并小作田村入会^ニ

相成居候耕地^江、喜太郎義麦畑^江農業^ニ

罷出候處、小作田村五右衛門畑^ニ雁壺わ落

有^レ之候間、何之心付も無^ニ御座^一持返り拵家内

一同^ニ而^レ給申候、尤雄右衛門義^者同月廿二日

成田山参詣^ニ罷出、同廿六日帰宅仕候得共、

家内^ニ而^レ隠置候処、後日承知仕候得共、当惑

仕其俣差置今般之次第^ニ至り奉^ニ恐入^一、

且次郎兵衛、由蔵兩人^者喜太郎拾取之

始末存ながら村役人方可^ニ申出^一筈之処

愚前^味之者^{ニ而}、何之心附^(無脱)も御座打過

罷在、御調請一同恐縮罷在此上御

吟味奉^レ請候^{而者}、重々奉^ニ恐入^一候間、何卒以^一

御慈悲^ニ御憐愍^之御沙汰偏^ニ奉^ニ願上^一候、以上、

文久元酉年六月

埼玉郡八条領

松ノ木村

名主 雄右衛門

同人 倅喜太郎

百姓 次郎兵衛

同 由蔵

村役人 惣代

名主 伊兵衛

葛西御掛り

御鳥見衆中様